

いわき農林水産ニュース

令和4年1月号（第203号）発行 1月27日

ふくしまからはじめよう。

『食』と『ふるさと』新生運動ニュース



「ふくはる香（いちご）」
福島県が品種改良を行ったオリジナル品種。さわやかな香りとすっきりした甘みが魅力です。
※写真は小川町の草野いちご園で
今月撮影させてもらいました！

目次

- ・〔特集〕いわき農林事務所長 年頭挨拶……p.1
- ・〔特別企画〕いわき市農林水産部長新春インタビュー
～いわきの農林水産業～……p.2～
〔各種取組の実績（12～1月分）〕……p.4～
〔お知らせ・連載記事〕
- ・いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果…p.6
- ・いわき地方の出荷制限等品目……p.6
- ・イベント情報……p.7
- ・頑張る！新規就農者 Interview！！……p.10
- ・6次化商品紹介……p.11

新春を迎えて

いわき農林事務所長 年頭挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症がこれまで以上に猛威を振るい、いわき市においては8月8日～9月30日の期間、まん延防止等重点措置が適用されるなど、社会経済活動が著しく停滞しました。

農林水産業については、米価の下落や原油価格の高騰などによりダメージを負ったほか、農林水産物のおいしさや品質の高さを消費者等に直接お伝えする機会を失うなど厳しい1年となりました。

一方、そのような状況で1年の延期を経て開催されたオリンピック・パラリンピックでは、会場内の施設においていわき市産を含む県産木材が使用されたほか、同じくいわき市産を含む県産農林産物が選手村の食材として提供され、世界各国から高い評価を受けました。

当所におきましては、高校生と飲食店等によるいわき市産農林産物を使用したテイクアウトメニュー開発や、過疎・中山間地域のオンライン体験ツアーを実施するなど、コロナ禍においても地域の魅力を伝える事業に取り組みました。

また、消費者からの信頼性の向上を図るGAP認証取得数は12月末現在で目標を上回る49件となったほか、7月に開所した「いわき地域就農支援センター」と連携して、農業後継者の確保にも一層力を入れたところです。さらに、復興交付金事業（復興基盤総合整備事業）「夏井地区」が年度内に完了する見込みとなり、東日本大震災の津波被害を受けた沿岸部の地区全てにおいて整備が完了することとなりました。

林業分野では、耐火構造材として大臣認定を取得した無垢スギ大径材が県内の中規模木造建築物で使用されるなど、管内の森林資源を活かす取組が行われています。

本年は震災と原発事故から11年となります。新たなステージに入った復興・再生に向け、令和4年4月から始まる新たな県農林水産業振興計画の下、いわき地方の農林産業の力強い復興と更なる発展に取り組んでまいりますので、本年も皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



福島県いわき農林事務所
岡部広承所長

特別企画

いわき市農林水産部長 新春インタビュー
～いわきの農林水産業～

当所では、平成30年から毎年、いわき市農林水産部長に旧年の振り返りや新年の新たな施策などインタビューを行ってきました。

今年も、千葉伸一郎部長に色々と伺ってきたので、どうぞご覧ください。(インタビュアー：編集担当 T)



いわき市農林水産部
千葉伸一郎部長

インタビュアー：あけましておめでとうございます。
本日はどうぞよろしくお願いいたします。

千葉部長：あけましておめでとうございます。
こちらこそよろしくお願いいたします。

インタビュアー：まずは、4月の着任からの今日まで、8ヶ月の振り返りをお願いします。

千葉部長：4月からの8ヶ月を振り返ると、まずは組織再編により、農産物の流通関係の業務に重点的に取り組む「農政流通課」と、生産者の育成・支援に取り組む「生産振興課」が設置されたことが大きな出来事でした。設置当初は連携がうまくいかないこともありましたが、現在では軌道に乗って両課が協力しながら様々な業務に当たっているところです。

また庁内横断のプロジェクトチームである「魅力アップ！いわき情報局 魅せる課」について、震災から10年以上が経ち、震災の記憶の風化が懸念される中、今までの「魅せる課」の組織の再編を行い、これまでの農林水産部門と観光部門に有用なコンテンツとして新たに芸術文化及びスポーツ部門を加え、充実強化を図ることによって、更なる魅力発信などのプロモーションを効果的に行いました。

ちなみに私の農林水産部への着任は8年ぶりになります。当時は、震災から間もない時期であり、主に風評対策などの業務に当たっていました。

インタビュアー：次に、新型コロナウイルス感染症の影響についてお伺いします。いわき市は8月上旬～9月末まで、まん延防止等重点措置が適用されるなど、市民生活に大きな影響がありました。農林水産業には、どのような影響があったのでしょうか。

千葉部長：新型コロナウイルスの影響については、中・外食需要の大幅な落ち込みにより農産物・水産物の売上げ減少や販売価格の低迷が生じており、農家や漁師の収入減少や意欲の減退等が懸念されます。

特に主要な農産物である米の価格が大幅に下落したことについては、本市としても、令和3年(2021年)産主食用米からの転作支援を行う「新型コロナウイルス感染症対策水稻転作緊急支援事業」や営農資金を融資する「稲作安定化事業」を実施しており、今後も、収入減少の影響を緩和する収入保険への加入を促進するとともに、国・県の動向を注視しながら、対応を検討していきたいと考えています。

引き続き、農業や漁業の主たるプレイヤーである農家や漁師の皆さまを全力で応援していきます。

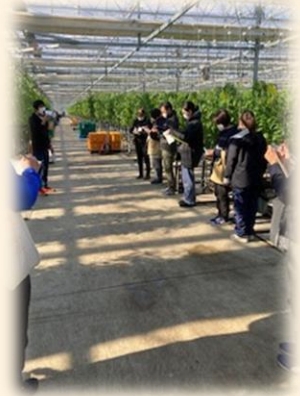


インタビュー：次に令和4年の農林水産業に関する主要な施策について教えてください。

千葉部長：まず、大きなところだと農林水産部に係る各種計画の計画期間が今年4月から始まるので、現在、その策定に向けた最終的な作業を進めているところです。近年の社会情勢やデータなどを踏まえながら、簡潔で分かりやすい表記にするなど、様々な工夫を凝らしています。

農業関係については、「いわき市農業生産振興ブランド戦略プラン」に基づく様々な補助事業のメニューを提供する予定であり、意欲ある農家の皆さまに積極的に活用してもらうことを期待しています。また、新たな取組として、「農福連携」などの機軸も考えているところです。

「農福連携」については、農福連携の課題解決の一環として、昨年4月に「いわき市農福連携推進協議会」を設置し、パンフレットを作成するなどして周知・啓発に努めてきました。また、今月20日に市内の先行事例である農業法人などに協力いただいて、「農福連携スタディーツアー」を開催したところであり、今後もこれらの取組を継続・発展させていく予定です。



(農福連携スタディーツアーの様子)



(いわき市産木材を多く利用した公共施設)
【いわき市立三和小中学校】

林業については、昨年4月1日から施行された「いわき市豊かな森づくり・木づかい条例」に基づく、市産木材の利用促進を始め、森林の循環利用と多面的機能について、市民の皆さまの理解促進につながるよう施策の検討を進めます。

これまで、林業分野は脚光を浴びてこなかった部分もありますが、県の林業アカデミーふくしまの就業前長期研修が来年度開講予定で、さらに後継者の育成が進むものと考えており、期待しているところです。

水産業については、魚食文化の継承と消費拡大を重要なポイントとしております。“常磐もの”の魅力発信や各世代に向けた体験事業の実施など、魚食の普及に向けた事業を展開していきます。

また、漁師の後継者確保が喫緊の課題となっている中、本市では昨年、いわき市漁業協同組合と連携し、高校生や一般の方を対象に実施した「お試し漁業体験」が大変好評でした。本事業を通して一般の方2名が就業し、高校生1名も卒業後の4月からの就業を予定しています。



(お試し漁業体験の様子)

インタビュー：最後になりますが、千葉部長の関心のある話題があれば是非教えてください。



(いわきFCによる“常磐もの”のPR)

千葉部長：2021年のJFL（日本フットボールリーグ）のリーグ戦で優勝し、2022年からJリーグ（J3）に参戦する「いわきFC」のことが気になっていますね。

いわきFCの選手たちの食事に、栄養価の高い魚介類が積極的に取り入れられているそうです。そこでいわきFCでは「福島県漁業協同組合連合会」や当市と連携して、「“常磐もの”うまい!“常磐もの”で勝つ!」を合い言葉に“常磐もの”の魅力や美味しさを連携して発信していくことになりました。Jリーグでの「いわきFC」の活躍に期待したいですね。

インタビュー：今日はお忙しい中、ありがとうございました。色々と勉強になるインタビューになりました。

千葉部長：こちらこそありがとうございました。

いわき乾杯！KAWAMALE（カワマエール）完成記者会見

〔1月11日（火）〕

川前町の大麦とホップを使用した発泡酒「いわき乾杯！KAWAMALE（カワマエール）」完成の記者会見がいわき市役所にて行われました。

川前町の地域振興を目的とするいわき地方振興局の「夏井川流域振興事業」を活用して製造しており、地域おこし協力隊の三戸大輔さんが中心となって地域の皆さんと一緒に開発した、川前町の魅力たっぷりのお酒になっています。

鮮やかでフルーティーな香りと小麦のアクセントがある飲みごたえが特徴的です。

今回は試作品なので残念ながら一般販売はしませんが、三戸さんは地域おこし協力隊任期終了後の本格的な開発に向けて、引き続き地域の協力を得ながら活動していく予定です。（いわき地方振興局）



（記者会見の様子（中央 三戸大輔氏））

林業・木材製造業労働災害防止協会安全パトロール

〔12月9日（木）〕

管内の間伐作業実施中の森林において、林業・木材製造業労働災害防止協会福島県支部と合同で、先山ゼロ災推進安全巡回として安全パトロールを行いました。

県内では、令和2年に28件、令和3年は11月末までに31件の休業4日以上 of 林業労働災害が発生しています。

林業の持続的かつ健全な発展に向け、労働安全衛生法令の遵守や、安全衛生教育の確実な実施などにより、労働災害発生の防止を図ることが重要です。

今回のパトロールでは、チェーンソーによる立木伐採に従事する作業員を対象に、下肢の切創防止用保護衣の着用、かかり木の適正な処理など、「チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン」に基づき、法令等の遵守の徹底を指導しました。

労働災害の防止について、事業者の皆さまを指導しているところですが、個人的に伐採をする場合においても十分に注意されるようお願いいたします。（森林林業部）



（いわき市三和町合戸地内）



（いわき市田人町高柴地内）



鳥獣害モデル地区実績検討会

〔12月10日(金)〕

鳥獣被害防止対策を行うモデル集落として、今年度は小川町西小川上谷地地区の梨生産者を対象に活動をしています。

本活動の実績報告として、館公民館で実績検討会を開催し、梨ほ場における野生動物の出没・被害状況の共有を図るとともに、来年度の計画について検討しました。

梨の収穫期にはイノシシやタヌキ、テンなど多様な野生動物が頻繁に出没しており、中には果実被害が多く見られたほ場もありました。収穫期を過ぎると野生動物の出没回数は減少しましたが、イノシシによるほ場内の掘削被害は引き続き見られており、年間を通して対策する必要があります。

当所では、次年度は鳥獣被害防止対策未実施ほ場における電気柵の設置効果を検証するとともに、電気柵の定期的な点検や維持管理について指導してまいります。
(農業振興普及部)



(検討会の様子)

家族経営協定締結式

〔12月20日(月)〕

平窪地区の梨生産者である根本正子さんの家族経営協定締結式が、いわき市、いわき市農業委員会、当所立会のもと行われました。

家族経営協定とは、家族一人ひとりがお互いを共同経営者として尊重し、よりよい農業経営や働き方を実現するためのルール作りで、いわき市では29件の家族経営協定が結ばれています(令和3年12月31日現在)。

経営主である正子氏は、平成28年に親元就農した後継者の大我氏へ経営移譲を進めるため、家族4人で役割分担、労働時間、休日等について話し合い、今回、家族経営協定を締結されました。

正子氏は、「家族一丸となって、梨栽培を頑張っていきたい」と意気込んでおり、今後は認定農業者の共同申請を検討されています。

当所では、後継者への経営移譲や認定農業者の共同申請を検討している生産者に対して引き続き家族経営協定の推進活動を行い、締結に向けた支援を行ってまいります。
(農業振興普及部)



(家族経営協定を締結した根本正子氏
(左から3番目)と大我氏(左から2番目))

農山漁村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）「夏井地区」で権利者会議を開催
〔12月22日（水）〕

農山漁村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）の夏井地区（p.12 地図参照）は、東日本大震災による津波被害を受けた沿岸部に位置します。平成 25 年度に事業に着手し、142.1ha の農地の区画整理を行ってきました。

ほ場整備では、事業に参加した農家が所有する農地の権利を、整備後の区画形状に合わせて再編する「換地」という手続きを行います。この「換地」を定めるために、事業に参加した農家の皆さまの承認を得ることを目的とした「権利者会議」を開催します。この会議を下大越構造改善センターで開催し、賛成多数によって換地計画が承認されました。

この手続きを終了したことにより、今年度の事業完了に向けて大きく前進しました。今後は、整備された農地を有効に活用していただき、夏井地区の農業がさらに発展することが期待されます。（農村整備部）



（会議の様子）

お知らせ

いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果（令和3年12月分）

□ 農林畜産物の検査結果

令和3年12月の農林畜産物モニタリング検査では、5品目6検体を検査し、全ての検体について放射性セシウムは検出されませんでした。内訳は（表1）のとおりです。

（企画部）

（表1）品目と検体数

イチゴ（施設）1、トマト（施設）1、くるみ1、牛肉2、原乳1

□ 海産魚介類の検査結果

令和3年12月の水産物モニタリング検査では、113検体の海産魚介類を検査し、全ての検体について放射性セシウムは検出されませんでした。

（水産事務所）

いわき地方の出荷制限等品目

令和3年12月末現在、いわき地方の農林畜産物のうち、出荷制限等の対象となっている品目は（表2）のとおりです。

出荷制限等品目は、出荷・販売だけでなく、宿泊施設等での提供や加工用原材料として使用することもできません。また、自主検査等により基準値（100Bq/kg）以下であっても出荷・販売はできませんのでご注意ください。

（企画部）

（表2）農林畜産物の出荷制限等品目（令和3年12月末現在）

制限、自粛	区分	品目
出荷制限	山菜	たけのこ、ぜんまい、たらのめ（野生のものに限る）、わらび（野生のものに限る）※ こしあぶら
	きのこ	原木なめこ（露地）、野生きのこ
出荷自粛	山菜	さんしょう（野生のものに限る）

※わらび（栽培）で出荷・販売できるものは、安全性が確認されたほ場で生産されたものに限りです。

（市内該当生産者 15 名のみ）



「第2回高校生発！いわきテイクアウトメニュー開発」実食キャンペーン

いよいよ2月7日（月）から、いわき市内の高校生と飲食店・スーパー5店舗が共同開発したテイクアウトメニューの販売が始まります！また、2月23日（水・祝）までに商品を購入し、アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で10名様に、いわきの特産品セットをプレゼントします。

いわきの高校生と飲食店・スーパーとのコラボにより、いわきの農林産物を一層美味しく味わえます。ぜひテイクアウトでご堪能ください！（販売店舗の場所は p.12 地図参照 ※マルト各店舗を除く）（企画部）

	販売商品	考案者	販売店・価格
1	<p>「カレー風味のエビピラフ」（単品（下）おかず付き（上））</p>  <p>玉ねぎの代わりに「いわきネギ」を使用したエビピラフ。ぷりっとしたエビの食感も楽しんで！</p>	<p>県立磐城農業高等学校 3年 蛭田 伊織さん</p>	<p>株式会社マルト （市内各店舗で販売） 税込価格： 単品 322 円 おかず付き 422 円</p>
2	<p>「フラパオライス～ALL いわき～」</p>  <p>ピリッと辛いパンチの効いたガパオライス。温泉卵もポイント！</p>	<p>県立小名浜海星高等学校 3年 小澤 みくさん 小野 明奈さん 金子 亜里沙さん</p>	<p>ダイニングキッチン 月海 -Ruu- （植田町中央 1 丁目 3-3） 税込価格：800 円</p>
3	<p>「Iwaki たっぶりハヤシライス」</p>  <p>名前のとおり、いわき産の食材がたっぶり。ルウに溶け込んだトマトの旨味がポイント！</p>	<p>県立湯本高等学校 2年 鷲 綾香さん</p>	<p>ビストロ あん庵 （平堂ノ前 22 労働福祉会館 1F） 税込価格：1,000 円</p>
4	<p>「トマトバーグのみそクリーム仕立て」</p>  <p>いわき産野菜のおいしさを一度に味わえるハンバーグ。中に入ったしいたけの食感がアクセント！</p>	<p>県立磐城桜が丘高等学校 3年 滝 若菜さん</p>	<p>DELICA CAFE kibaco （平下神谷字下川原 103-2） 税込価格：850 円</p>
5	<p>「いわきポーポーライスバーガー」</p>  <p>いわきの郷土料理「さんまポーポー焼き」といわき産野菜を一度に楽しめます。2種類のディップもポイント！</p>	<p>県立いわき光洋高等学校 1年 飯塚 愛菜さん</p>	<p>ごはんカフェ きゅういち （平豊間字下町 148-4） 税込価格：700 円</p>

※販売期間は、令和4年3月6日（日）までを予定しています。上記2～5の商品については数量限定となりますので、あらかじめ各販売店にお問い合わせください。

トピック①

「いわきの特産品を味わおう！Instagram フォトコンテスト」
所長賞・次長賞が決定！

10月18日（月）から12月17日（金）までの期間、「いわきの特産品を味わおう！Instagram フォトコンテスト」を実施しました。本コンテストは、いわき産農林産物のおいしさをSNSを通して発信してもらうことで、多くの消費者にいわき産農林産物の魅力を広くPRするため、いわき産の「トマト」「ネギ」「しいたけ」を使った料理や加工品の写真を募集したものです。

応募があった41作品を所内で審査した結果、所長賞には、いわき産ミニトマトを使った色鮮やかなデザートを撮影した @y.n.wakanyakuzen 様の作品、次長賞には、いわき産しいたけとネギを使った料理「しいたけの塩こんぶつくね」を撮影した @yecunmiyuki4 様の作品が選ばれました。

所長賞・次長賞の受賞者には、賞品としていわき産「福、笑い」やいわきの6次化商品詰め合わせをお送りしたほか、応募者全員に参加特別賞の賞品を送りました。

素敵な写真がたくさん投稿されていますので、ぜひ、Instagramで「#いわき特産フォトコンテスト」をチェックしてみてください！（企画部）



（岡部所長（中央右）と酒井次長（中央左））

所長賞



（@y.n.wakanyakuzen 様の作品）

次長賞



（@yecunmiyuki4 様の作品）



（お送りした賞品）

トピック②

いわきから日本一のサンドイッチとお寿司が誕生！！

(株) マルト (p.12 地図参照) では、いわき市の生産者・料理人・自治体・学校等と協力して地元の食材を活かした商品開発を行い、地域貢献を目指した活動を推進しています。

そのような活動の中で生まれた商品が、(一社) 全国スーパーマーケット協会主催の「お弁当・お惣菜大賞2022」(応募総数 41,923 点) において、パン部門で「ズバサン海老アボカド」(ズバ抜けて美味しいサンドイッチ)、寿司部門で「^{わさび}山葵をつけて食べる本鯖尽くし」が最優秀賞に選ばれました。(株) マルトは昨年もおにぎり部門で最優秀賞を受賞しており、2年連続での受賞となります。



(受賞を喜ぶ関係者)

1月12日(水)にマルトSC平子店(p.12 地図参照)で記者会見が開かれ、商品開発に係った関係者から受賞をお祝いするコメントがあったほか、商品開発の経緯やこだわりのポイント、商品に込めた思いなどの報告が行われました。

最優秀賞を受賞した2商品のほか、地元高校生との共同開発商品やこだわりのおにぎりなど5商品が優秀賞等選ばれています。各商品の販売については、マルトの公式ホームページをご確認ください。

日本一のサンドイッチとお寿司を是非ご賞味あれ！

(株) マルトHP : <https://www.maruto-gp.co.jp/>

パン部門
最優秀賞



【ズバサン海老アボカド】
(ズバ抜けて美味しいサンドイッチ)

県産の小麦(ゆきちから)をブレンドしたオリジナルの食パンに、厳選したサラダ海老やアボカド、地元いわき市産のフリルレタス、県産トマトを使用し、地元のイタリアンシェフ北林由布子氏の監修のもと開発されました。

寿司部門
最優秀賞



【^{わさび}山葵をつけて食べる本鯖尽くし】

販売当日の朝、市場に入荷した新鮮な国産の本鯖を使用しており、大トロ、中トロ、赤身、中落ちの部位が味わえる贅沢な一品です。



頑張る！新規就農者 Interview！！ Vol.2

いわき市小川町にある草野いちご園 (p.12 地図参照) の草野さんのもとで新規就農研修を受けている木田真優さんにインタビューしました！

インタビューー：農業を志したきっかけは？

真優さん：ものづくりと生き物が元々好きなこともあり、歳を重ねても続けられる仕事だと考えました。いわき市の「いわき野菜 Navi」(HP)を見て施設栽培をしたいと思ったのがきっかけで、草野さんにお願ひし、昨年の6月から研修を受けています。

インタビューー：研修ではどのようなことをされていますか？

真優さん：ビニールハウスの温度調整や水やり、いちごの収穫やパック詰め、葉かきなどの作業をしています。繊細な作物なので見極めが難しい作業も多くあり、草野さんをはじめ働いている皆さんに教えていただき、学びながら作業しています。

インタビューー：農業の魅力を教えてください。

真優さん：一人で作業に没頭でき、落ち着いて作物と向き合えるのが魅力です。目に見えて変化と成果が見えることもあり、とても愛らしく感じます。



木田 真優さん (27)
出身地：いわき市
好きな野菜：何でも食べます
嫌いな野菜：無し



(葉かき作業中の木田さん)

インタビューー：今後の目標を教えてください。

真優さん：クオリティ・収量共に安定したいちごの栽培ができるようにしたいと考えています。販路の開拓・病害虫対策・コスト面の課題などもありますが、もう一度食べたいとお客様に思っただけのいちごを作ることが第一の目標であり、一番大切なことだと思っています。

インタビューー：最後に、新規就農を考えている方へひとことメッセージをお願いします。

真優さん：心身の健康は本当に大切なので、自分を労わることを忘れないようにしていただけたらと思います。

インタビューー：ありがとうございました。これからも応援しています！

(企画部)



(パック詰めされたいちご)

こだわりと美味しさがつまった いわき自慢の6次化商品をご紹介します！

いわき・ら・ら・ミュウでは、市内の農家や洋菓子店、企業と連携し、同館オリジナル商品の焼き菓子「笑顔シリーズ」のマドレーヌと焼きドーナッツを開発しました。

三和町の洋菓子店「Pere Noel(ペールノエル)」が製造を手掛け、食感や甘さなどにこだわり何度も試作を重ねた商品で、お客様からお年寄りまでいわきの農産物を美味しく味わって笑顔になってほしいという思いが込められています。

マドレーヌと焼きドーナッツは、いずれも農産物を使用したジャムを生地に混ぜて焼き上げており、マドレーヌはバター風味やしっとりとした生地、ドーナッツはふんわりとした食感が特徴です。現在販売中のトマト・ブルーベリー・いちごの3種類は、それぞれいわき小名浜菜園(株)、大和田自然農園、田人観光いちご園のものを使用し、地元産材料にこだわっています。

同館内のいわきの物産 銘品プラザでお買い求めいただけます。是非ご賞味ください！



店員の小野寺さん



マドレーヌ・焼きドーナッツ

- トマトの笑顔
- ブルーベリーの笑顔
- いちごの笑顔

各216円(税込)

箱詰めにして、
(5個・10個入り)
年土産やギフトにも
おすすめ！



いわきの物産 銘品プラザ(いわき・ら・ら・ミュウ内)

- いわき市小名浜字辰巳町43-1 ● TEL:0246-92-1180
- HP: <http://www.lalamew.jp>

所在地は p.12 のマップを参照

トピック③

令和4年初水揚げ

新しい年を迎え、いわき地区でも続々と水揚げが行われています。1月6日には『地方卸売市場小名浜魚市場』、1月11日には『久之浜、沼之内、勿来地方卸売市場』にて【令和4年初】となる水揚げがありました。主な魚種は、底びき網漁船で「ヒラメ」「キアコウ」「ヤナギムシガレイ」、小型船(釣り、さし網、カゴ漁業)で「ヒラメ」「ホウボウ」「マダコ」でした。

まだまだ寒く、乾燥する季節が続きます。心も体も温まる「アコウ鍋」や「ヤナギムシガレイ」の自家製干物作りなどで「常磐もの」の魅力を味わってみてはいかがでしょうか。(水産事務所)



(底びき網漁船により漁獲された魚)

今月号に掲載した場所はここです！

- ① 農山漁村地域復興基盤総合整備事業 夏井地区 (p.6)
- ② ダイニングキッチン月海-Ruu- (p.7)
植田町中央1丁目3-3
- ③ ビストロあん庵 (p.7)
平堂ノ前22 労働福祉会館1F
- ④ DELICA CAFE kibaco (p.7)
平下神谷字下川原 103-2
- ⑤ ごはんカフェきゆういち (p.7)
平豊間字下町 148-4
- ⑥ 株式会社マルト本部 (p.9)
勿来町窪田十条3-1
- ⑦ マルト SC 平尼子店 (p.9)
平尼子町3-1-1
- ⑧ 草野いちご園 (p.10)
小川町高萩前川原 33
- ⑨ いわき・ら・ら・ミュウ (p.11)
小名浜字辰巳町 43-1



— あ と が き —



冬の寒さがより一層厳しい時期となりましたが、皆さまいかがお過ごしですか。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に歯止めがかからず、再びイベント等が中止や延期に追い込まれています。

そして私事ではございますが、毎年楽しみにしていた「いわきサンシャインマラソン」が今年も中止となることになりました…。

初出走から4年、以降一度も走れておらず、今年こそはと意気込んでいましたが、中止の発表に現在意気消沈しています…

ですが、明日からまたトレーニングに励み、来年に向けて頑張ろうと思います。(編集 T)

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地
(県いわき合同庁舎 3階)

T E L (0246)24-6152 F A X (0246)24-6196

U R L <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/>



いわき農林水産ニュース